

# Radixの会2001年度決算報告

自平成13年3月1日 至平成14年2月28日

Radixの会 事務局長 竹内周

2001年度、平成14年2月28日時点での当会の収支は、収支計算書及び財産目録のとおり決算しましたので報告します。また、この決算内容につきましては、去る4月17日に開催された第12回役員会にて、予算実績報告、監査報告、予算実績報告も併せて承認をいただいたことを申し添えます。

## Radix

Radix

### ■収支報告

#### 収入の部

本年度の収入（当期収入合計）は、会員会費収入、特別会員会費収入、及び受取利息を合わせ、合計で60,019,813円となりました。

#### 支出の部

本年度の支出は、事業活動費の支出として46,098,492円、運営経費の支出として19,289,029円となりました。これに事業外支出0円を加えた当期支出合計は65,387,521円となりました。

#### 当期収支差額

収入合計より支出合計を差し引いた当期収支合計は▲5,367,708円となり、前期繰越額40,853,195円を合計した次年度（2002年度）への繰越金（累計収支合計）は、35,485,487円となりました。

### ■財産報告

#### 資産の部

当会は、現金、普通預金、未収入金、立替金を合わせた流動資産として、40,729,151円、固定資産0円、資産の部合計で40,729,141円を保有しています。

#### 負債の部

当会は、未払金、前受金を合わせた流動負債として、5,243,654円、固定負債0円、負債の部合計で5,243,654円を保有しています。

#### 正味財産

資産合計より負債合計を差し引いた当会の正味財産は、35,485,487円となっています。

### ■予算実績報告（収入の部）

今年度は会員拡大を目指し予算組みを行ないましたが、60,000千円を上限とした収入見込みに対し、会員会費シェアが以下のように66%から

71%に拡大しました。会員会費は、前年実績（39,950千円）13%増の44,988千円計画に対し、7%増の42,789千円となりました。特別会員会費は、前年実績（17,070千円）79%の13,473千円計画に対し、1%増の17,221千円となりました。ちなみに収入合計は、予算58,461千円に対し27%増の60,020円となりました。

### ■予算実績報告（支出の部）

事業活動費、運営経費合わせて、当期は予算上97,902千円の支出を見込んでいましたが、支出実績は65,388千円と、差し引き32,514千円の未達となりました。予算未達の活動部門は事業活動費であり、その内訳は農産（▲1,575）、畜産（▲8,827）、食品（▲8,995）、流通（▲4,742）、そして事務局活動（▲8,352）です。未達の企画項目は以下の通りです……

- 農産部会** 94%：ほぼ予定通りの達成状況ですが、有機資材リストの発行が遅れているなど。
- 畜産部会** 22%：会議、集会等が活性化したが、生産基盤整備補助、栄養分析、生産方法の研究等が丸手付かず。
- 食品部会** 14%：衛生講習会（4回開催）以外はほぼ手付かずでした。
- 流通部会** 12%：Radixの会との取り組み未着手、リサイクラーについても全国展開かないませんでした。
- 事務局** 66%：天災等補助のための準備金未使用、名簿制作の遅れなど。

### ■総括

2001年度は、前年と比較して収入、支出とも合計額は同様な活動規模と見えますが、内訳を見ていくと、大きな変化が現れました。一昨年より

累計の新規入会者数はらでいっしょぼーや商品部のご協力を得て約45であり、同様な退会者数があるものの変動費収入が目に見えた増加を示しています。これは金額だけを見れば、比較的規模の大きい新規会員の加入と、小規模会員の減少、という側面と、Radix加入の会員がらでいっしょぼーやの業績向上にからんでいる、という側面の両面が現れた結果ではないかと考えています。

また、事業活動費内訳については、事業活動費から事務局活動を差し引いた、専門部会活動が、2000年度で11,895千円、2001年度で29,930千円と、252%と大幅に広がっています。また専門部会活動の84%を農産部会で占めており、2001年度の農産部会の活動の活性化を示すものと考えられます。

年間支出から総会に拠出した5,766千円を差し引いた59,622千円の活動規模は、年間の会費収入とバランスするものに対し、今後は農産以外の専門部会、新規設立の交流部会、ホームページの新設等情報発信機能の充実等、活動が拡大することが見込まれます。これを受け2002年度の活動については、2月に開催された総会での活動方針を元にしつつ、①ムダな経費の節減、②会員の増加等による会費収入の増加、③新たな事業活動の模索の3点を視野に、かつ活動の広がりが担保され、会員の期待に十全に応えうる予算編成が求められます。